

# 授業科目                      病理学実習

【担当教員名】  池上 喜久夫		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○		○	○	
【概要・一般目標：G10】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病理学的診断に必要な標本を作製できる技術を習得する。</li> <li>・細胞学的診断に必要な知識と技能を修得する。</li> </ul>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病理検体を薄切して、病理標本を作ることができる。</li> <li>2. 病理検査に必要な染色技術を習得する。</li> <li>3. 染色の機序と結果を概説できる。</li> <li>4. 細胞診標本を観察し、悪性細胞を判別することができる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	標本作成 1	切り出し・固定・包埋			標本作成
2	標本作成 2	ブロック作成・薄切・一般染色液作成			標本作成
3	一般染色	ヘマトキシリン・エオジン染色 封入			染色
4	多糖類染色	PAS、アルシアンブルー、ムチカルミン			染色
5	結合繊維染色	エラスチカ・ワンギーソン			染色
6	結合繊維染色	マッソン・トリクローム			染色
7	腎臓染色	PAM			染色
8	酵素抗体法	PAP 法			染色
9	細胞診 1	標本作成、パピニコロウ染色			染色
10	細胞診 2	呼吸器、迅速細胞診、体腔液			標本を顕微鏡で観察する
11	細胞診 3	婦人科			標本を顕微鏡で観察する
12	細胞診 4	婦人科・顕微鏡テスト			顕微鏡テスト
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査講座病理学 / 病理検査学	松原 修ほか	医歯薬出版	5,200 円＋税
参考書		新 染色法のすべて 基礎から学ぶ細胞診すすめ方	医歯薬出版 編 西 国広 編	医歯薬出版 近代出版	1999・5,040 円＋税 8,400 円
その他の資料					
【評価方法】 鏡検テスト		【履修上の留意点】			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本の作製は手順を正しく進めてゆけば、美しい標本を作ることができます。</li> <li>・色鉛筆は通常 12 色セットの他、以下の色をそろえてください。</li> </ul>			
		■三菱鉛筆の MAGENTA525、CELADON538			